

# 避難誘導など確認

## 南三陸ホテル観洋で防災訓練

南三陸町の南三陸ホテル観洋で23日、火災と地震を想定した防災訓練が行われ、従業員が宿泊客の誘導など万一の対応を確認した。気仙沼・本吉地方最大の宿泊施設である同ホテルでは、災害時の対応に備えるため、年に2回の訓練を行っている。

火災は南館7階の客室から出火したと想定。館内放送で火災発

生を知らせた後、従業員が各フロアに分散し、逃げ遅れた人がいないか見て回ったり、宿泊客役となった従業員を避難場所に誘導したりして、対応を確認した。

大志副署長は「避難には大きなエネルギーが必要で、宿泊している人たちは容易に行動することができない。避難の声掛けや誘導など、行動のスイッチを入れてあげるのが皆さんの役目」とアドバイスした。

阿部隆二郎副社長は「常にお客さまを守る意識を忘れず、万一の際にはホテルが避難所となることも考慮しながら、防災力の向上に努めていきたい」と話した。

ながら、防災力の向上に努めていきたい」と話した。

### 【三陸新聞】

### 2020年3月24日



訓練で災害時の対応を確認する従業員